

な土地を与える(っ)しことにした。

もともとアイヌは狩猟民であり、部族ごとの狩り場はあっても、土地の所有意識などもたないし、まして国家意識や領土意識などないから、ある日急に、「コニニは天皇の工代だから、勝手に狩をしたり、魚をとってはいけない。土地をやるから畑を耕作し」と言われても、何が何だかわからないままま進り込まれていった。

農業を知らない人間に、土地をやるから畑を耕作、作らないなら取り上げる、といった政策は、テイのいい土地取り上げサギである。こうして多くのアイヌは漁業や林

業に日雇いとして働かざるを得ないようになされていった。

北海道を日本のものとして既成事実化し、ロシアに対抗するため、政府は屯田兵をばいぬ、日本人をどんどん開拓に送り込んでいったが、何せ道路から作らなければならぬ。そこでアイヌを使おうとしたが、すでにアイヌは頼りないほど数がへっていき、明治政府も報告している。

かといって、労働者を雇えば高くつく。へたっ部屋の始まり✓

そこで考えられたのが、囚人を使うことである。既に三池炭鉱などでは、囚人が酷

使っていた。囚人なら使ひ捨て、殺して
もよい、といった考えである。全国から囚
人を集めて坂の刑務所(集落監)を作り、
そこに机卓に道路を作り、木をきり倒し、
根を起す。こうした囚人たちは鎖でつな
がれて仕事をし、そこで死ぬとそのまま放
置され、今でもその名残の鎖と白骨がで
くると報告されている。(小池喜孝著「
鎖城の現代史出版会発行」)

のちの囚人の中には自由民権運動の活動
家たちもあり、足尾鉾毒と斗った田中正造
やキリスト教のくまの抗議によって囚人常
行は廃止された。

政府は鉄道や炭鉱を民間(財閥や政商)
にまだ同然で払い下げた。北炭なんかはそ
の代表例である。

囚人が簡単には使えなくなった。もともと
と人手の少ない北海道、余った人手なんか
ない。そこで手配師(募集人)が日本中を
回り、甘い言葉でだまして若者を連れて
きて、逃げられないようにして、強制的に
働かせる。人里離れた山の中、殺しても
かまぬとばかりにこき使う。ロタコ部屋
の出現だ。

相川や函館に、こうした手配を専問にす
るの周施屋(か)が生まれる。人夫出しといた

ようなもので、タコ部屋に六ヶ月契約から
して労働者を送り込んで手数料を稼ぐ。こ
れが明治三九年(一八九七)頃からのこと
だそうです。

「鉄道が開通した。国道が開けた。そう
いって提灯行列でもする。だがしかし、そ
この土には生きて人間の色と骨がうずめら
れているのだ。」(小林多喜二「監獄部屋
」一九二〇年)

大正頃からのタコ部屋については、
高田五吉さんの「土工、玉吉、ロタコ部屋
」一代目太平出版社発行に詳しく出ている。

朝鮮人・中国人の強制連行、強

制労働へ

昭和にはいって、日本の中国侵略が激し
くなると共に、多くの日本人労働者は里縁
にかりだされ、日本国内で労働力がたりな
くなくなった。そこで既に侵略していた朝鮮や
中国から強制的に農民を日本に連れてきて
炭鉱や工事現場に送り込み、多くの犠牲者
を出した。

広島建設や大林組などの大正建設業者も
ほとんどが、こうした強制労働をさせて、
のし上ってきたものだ。

(朝鮮人については、次回に詳しく書き

たいと思つてます)

現在、アイヌはすでに日本人化したものとして、右翼はもろろん一部中国系左翼までが声をそろえて、北方領土は日本のものだぞと叫んでいる。

橋根さんは、アイヌ差別は少しもなくはないとして、今でも子供たちが、登校前に手首や兄首の毛をやり落したり、夏でも長袖を着て、毛深いことを隠そうとしている事実を指摘しています。そして、

「どういう訳か、内地の和人シヤメより、北海道の和人のほうがアイヌを差別する。北海

道の和人は皆、アイヌモシリを奪つた共犯者ではないか、私達を嫌う前に、お前達が

私達アイヌウタリに嫌われなければならぬのに。私達アイヌウタリは、あなた達和人が入つてこなかったら、生れ育つた自由の天地をこよなく愛していたものを。...

アイヌモシリへアイヌの国というふうな意味の侵略からアイヌ酷使→日本人酷使(タコ部屋)→朝鮮人、中国人酷使(強制連行)とつづく北海道の歴史は、そのま

ま日本の建設業者の歩んできた道であり、寄場にあつた労働者の民族を越え互いの敵として忘れてはならないことだと思つた。

アイヌ、オロツコ、ギリアーク民族に対して、ソ連も日本と同様の罪をおかしている。

領土とか国家の主権とかいうものは労働者の主権とは関係のない、支配者、権力者、侵略者の発想だ。

ているが、その中で、異民族だから差別して来たとして、異民族なら差別してもいいやうな書き方をしているが、とんでもない間違いだ。民族や文化の違いは違いとして認め合い、理解しあつてこそ差別もなくなるのである。日本人同士だからとか日本のものだからといった排他主義、排外主義は労働者の団結のジャマにしかならない。

X X

つい最近、新聞に梅原猛という大学教授

が、アイヌ異民族説への疑問として日

本人と同一民族であるといつた仮説をEで

(この文への批判、反論を是非編集)

委員会までどうぞ)

X X